



1
月

パストラル尼崎

睦
月

No.139.2023(R5)年12月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎

尼崎市潮江1丁目10-2

Tel.06-6493-0521

Fax.06-6493-0301

発行責任者：峰田 康弘

◆1月の歳時記◆

『初日の出フライト』

「初日の出」の習慣は、日本古来のものですが、江戸で

は盛んに行われ、特に芝高輪の愛宕山と神田湯島が二大名所だったそうです。全国では明治以降、天皇の元日の儀式、四方拝が庶民に広まり、現代の初日の出を拝むという習慣になりました。しかし最近では高層ビルが立ち並び、初日の出を拝める場所を探すのも至難の技。またお天気にも大きく左右され、一生のうちで美しい「初日の出」にお目にかかれるのは、そんなに多くはないかもしれません。

そこには目をつけたのが航空会社。その名も「初日の出フライト」。障害物のない空の上から初日の出を觀賞しよう！という企画商品です。まだ暗いうちに空港を出発。上空で日の出を待って、そのあと富士山周辺をまわって、空港へ戻るといったのが定番らしいのですが、特別なフライトという事で、そのお値段も・・・汗（普通席、窓際六八〇〇円など）

しかし、「初日の出フライト」の最大の魅力は、雲の上を飛行する為「絶対に日の出が見える」という点。加えて上空から地平線を眺めるため、6時40分ごろに日本最速（南鳥島や沖ノ鳥島はもちろん除く）で日の出に立ち会えるという優越感！ 実際に経験した人によると、「日が昇り始めると機内が一気に明るく照らされて、太陽のまばゆいエネルギーに気分も最高潮に。直視できないほどの光の束に圧倒されて、なんだか敵かな心持ちにすらなってくる。初日の出にはそれくらいの力がある。誇張ではなく一生に一度は体験しておくべき！・・・と言えるイベントらしいのです。

また、チケットを予約する際、窓側を選択できればベストだが、通路側や中央席だと楽しめないという訳ではなく、上空では飛行機がハの字を描くように何度も旋回してくれるので、左右窓側ならまんべんなく初日と富士山を鑑賞でき、窓から離れた席はその様子を俯瞰できるので、視野を広く眺める事ができること。また、参加者には、初日の出フライト搭乗証明書や、記念品、機内ではおせち風のお弁当も用意されたりと各社、魅力満載。

というわけで、いつもと違った年越し・新年のイベントにしたいと思っておられるなら、初日の出フライトを考えてみてはいかがでしょうか。せんねく。ちなみに、「初日の出フライト」は各社が企画し、同じようなタイミングや場所に機体が集まるため、事前にA社はこの高度、B社はこの高度といった割り当てがあるとの事。（関係者の話ではくじ引き）なので写真を撮ると他社の機影が映り込む事があるのだとか。汗



機内の初日の出



迎春の『花びら餅』特集

花びら餅は、丸くのした餅に小豆色の菱餅を重ね、甘く煮た牛蒡と白味噌をのせ二つに折った宮中の行事食です。長寿を願う「歯固（はがため）」に由来するのだとか。花びら餅を扱う京都の名店の特徴も色々のようです。（但し個人差あり）

- 鍵善良房**：ぽってりした羽二重餅に白みそ餡が詰まった伝統的スタイル。牛蒡の味は控えめだが、蜜漬けが他店よりもしっかりめでカリカリな食感と甘さが特徴。牛蒡が苦手な方は鍵善良房がオススメ
- 老松**：白味噌餡と牛蒡の風味も良し。他店よりも白味噌感が強め。牛蒡の蜜漬けはあっさり目な印象。
- 鶴屋吉信**：「御所鏡」と名付け、あえて花びら餅と言わないところに鶴屋吉信らしさを感じる。やわらかな求肥を一口食べた瞬間は幸せ。
- 末富**：分厚めな羽二重餅の花びら餅。他店に比べても食べ応えがあって美味しい。モチモチなお餅を口に頬張る瞬間は贅沢で幸せなひと時。牛蒡の風味もしっかり目。
- とらや**：柔らかな求肥で作られた花びら餅。さすが虎屋な美味しさ。江戸時代より天皇へ花びら餅を奉納した歴史ある老舗。見た目も美味しさも風格が漂う。

令和5年度

パストラルシニア大学

今年度も多彩な講師をお迎えし、充実した内容でお届けしています。講師陣からその受講姿勢を絶賛されていた皆さま。今年も皆勤賞めざし頑張りましょう。

- * 毎回フロントにお申込み下さい(席に限りがあります)
- * 当日は、学生証も忘れずに！

第8回

「消費者被害予防学習会」

- ・日時：1月26日(金) 14時～15時
- ・場所：多目的ホール
- ・講師：三田あおぞら法律事務所
弁護士 吉田 哲也 先生

オレオレ詐欺など高齢者を狙った悪質な犯罪や、ネットなどの普及から消費者被害が拡大しています。正しい法律知識を身につけて被害にあわないように学習しましょう！